

MITSUBISHI

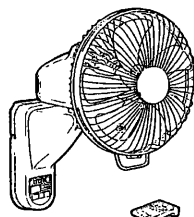
三菱扇風機（壁掛扇）

形 名

K30-WS (W)・(H)

取扱説明書

0110872HG7201



ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

■裏表紙の保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめてください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<div> 警告 </div> <div>誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</div>	
<div> 禁止 </div> <div>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない (電源コードが破損し、火災や感電の原因になります)</div> <div>羽根・ガードをつけずにモータを運転しない (けがをする恐れがあります)</div> <div>リチウム電池を幼児の手の届くところに置かない (飲み込む恐れがあります)</div>	<div> 指示に従い必ず行う </div> <div> AC100V を使用する (直流や交流 200V を使用すると火災や感電の原因になります) 電源プラグについたほこりは清掃する (ほこりが付着すると漏電火災の原因になります) 電源プラグはがたつきがないよう刃の根元まで確実に差し込む (差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります) 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する (誤ってかぶったとき窒息し死亡する恐れがあります) 製品の組立ては取扱説明書通りに行う (部品ははずれてけがをする恐れがあります) 異常時は運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買上げの販売店に相談する (異常のまま運転を続けると火災・感電・漏電の原因になります) お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く (通電状態では感電やけがをすることがあります) </div>
<div> ぬれ手禁止 </div> <div>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない (感電の恐れがあります)</div>	
<div> 水ぬれ禁止 </div> <div>製品やリモコンを水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電の恐れがあります)</div>	
<div> 分解禁止 </div> <div>改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因になります)</div>	<div> 電源プラグを抜く </div>

安全のために必ず守ること つづき

<div> 注意 </div> <div>誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</div>	
<div> 禁止 </div> <div> つぎのところで使わない 温室、ビニールハウスなど湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ、40℃以上の高温になるところ、ガスレンジなど炎の近く、綿ぼこりや砂ぼこりの多いところ、常に10℃以下になる低温なところ、引火性ガスのあるところ (感電や火災の恐れがあります) 風を長時間、からだにあてない (健康を害することがあります) 有機溶剤を使用しているところ、機械加工工場など油の付きやすいところでは使わない (変質、破損により落下することがあります) 本体にぶらさがらない (落下によりけがをする恐れがあります) 壁取付専用のため、天井には取付けない (落下によりけがをすることがあります) </div>	<div> 指示に従い必ず行う </div> <div> 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する (羽根やガードがはずれて落下し、けがをする恐れがあります) 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く (感電やショートして発火することがあります) 本体および落下防止ワイヤーの取付けは十分強度のあるところを選ぶ (落下によりけがをする恐れがあります) 取りはずし、組立ての際は手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります) </div>
<div> 接触禁止 </div> <div>ガードの中や可動部へ指などを入れない (けがをする恐れがあります)</div>	<div> 電源プラグを抜く </div> <div>使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く (けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります)</div>





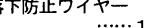


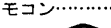

取付け前のお願い

取付場所は、扇風機の質量（3.5kg）に十分耐えられる場所を選んでください。

良い場所	悪い場所
<ul style="list-style-type: none"> ・板厚が18mm以上の木材壁（付属の木ネジを使用） ・コンクリート壁（市販のコンクリートビスを使用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・うすいベニヤ板、しっくい壁、モルタル壁 ・カーテンなど障害物のある場所 ・油や有機溶剤のかかる場所 ・本体の受信部に直射日光の強い光が当たる場所 ・本体の受信部とリモコンの間に障害物がある場所 ・インバータ照明器具または電子瞬時点灯照明器具を使用している部屋 ・テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすい場所 ・電源プラグ差し込み部が、家具等で隠れる場所 ・水のかかる場所

※ガード・羽根を取付ける前のモータは上向きになりますが故障ではありません。
ガード・羽根を取付け後、上下角度調節できます。

付属部品

取付用型紙…………… 1 枚 	壁掛金具…………… 1 個 	木ネジ…………… 6 本 (φ4.5×20 mm) 	<div> 壁掛金具用…………… 2 本 落下防止ワイヤー用…………… 1 本 本体引掛用…………… 1 本 リモコンケース用…………… 2 本</div>	
落下防止ワイヤー…………… 1 本 	セットネジ…………… 1 本 	リチウム電池…………… 1 個 	リモコン…………… 1 個 	リモコンケース…………… 1 個 

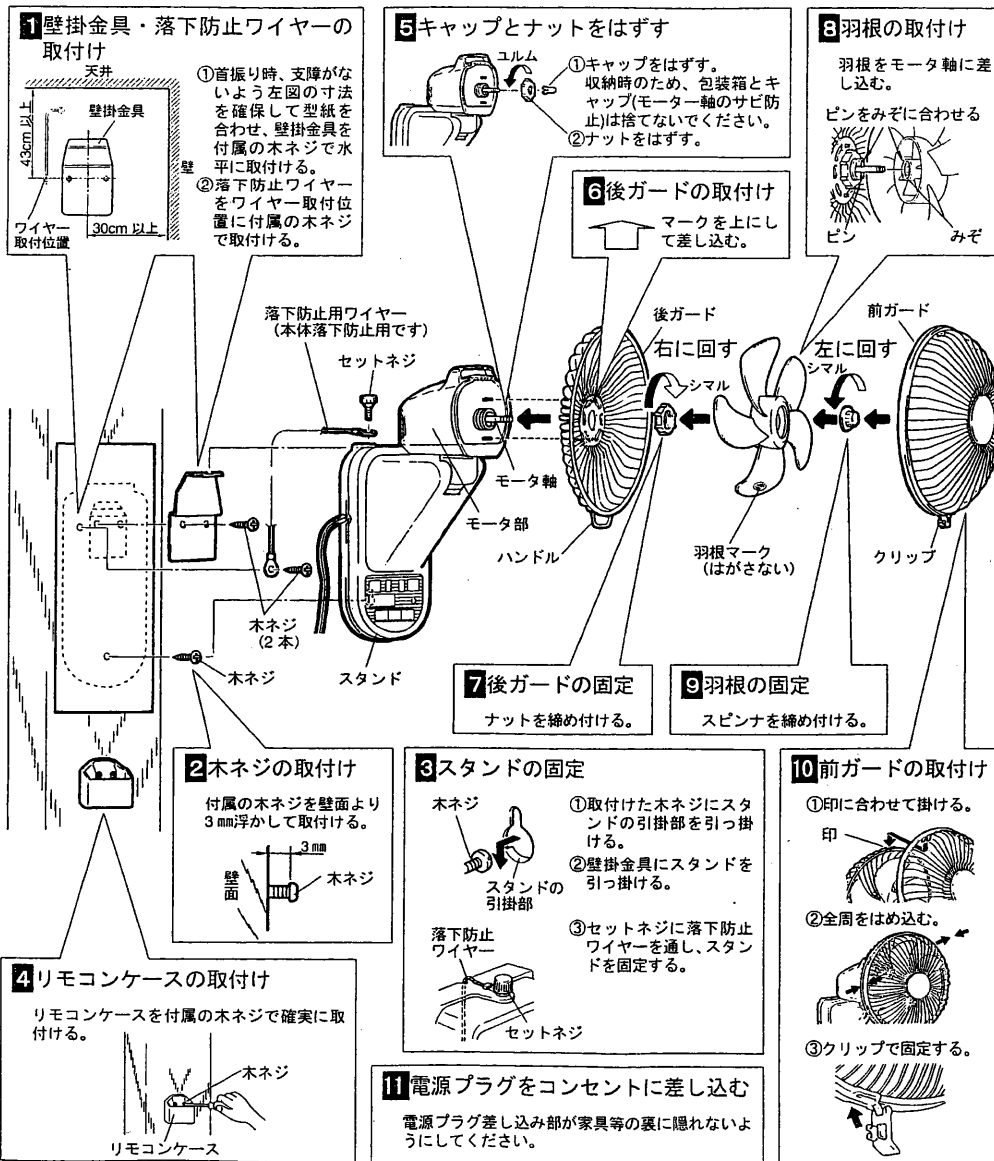
取付けかた (安定した踏台を準備する)

- 1～4の番号順にスタンド・リモコンケース、
5～10の番号順にガード・羽根を取付け、
11電源プラグをコンセントに差し込む。



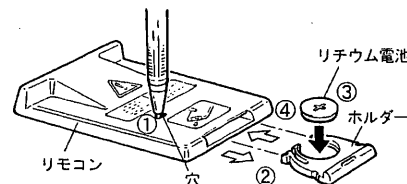
警告

羽根・ガードをつけずにモータを運転しない
(けがをする恐れがあります)



使いかた

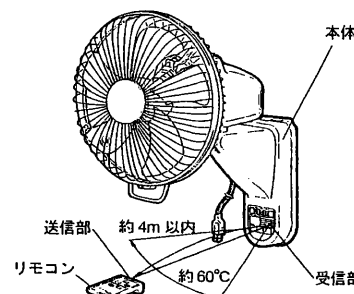
1. リモコンに電池を入れる



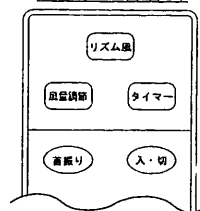
付属のリチウム電池(CR2032)を入れる

- ①裏側の穴にペン先を差し込む。
- ②ホルダーをスライドさせて引き出す。
- ③ホルダーにリチウム電池の極性(+、-)を合わせて入れる。
- ④ホルダーを「カチン」と音がするまで押し込む。

2. リモコンで運転する場合



リモコン操作部



運転をする

入・切 ボタンを押す。

風量を切り換える

風量調節 ボタンを押すごとに切り換わる。

ベビー風 → 弱 → 強

※ベビー風はマイコン制御で自動的に風量の変化をつけた微弱風です。

リズム風を使う

リズム風 ボタンを押すごとに切り換わる。

弱(リズム風) → 強(リズム風)

リズム風と強または弱のランプが点灯します。

※解除するには風量調節ボタンを押す。

※リズム風はマイコン制御で弱・強に風量の変化をつけた風です。(弱と強のみリズム風になります)

首振りをする

音振り ボタンを押す。止めるときはもう一度押す。

タイマーを使う

タイマー ボタンを押すごとに切り換わる。

本体の表示部を見ながら操作する。

セット時間	30分	1時間	2時間	4時間
ランプの状態	● (点滅)	● (点灯)	● (点滅)	● (点灯)

- 時間の経過とともに表示ランプが変わり、残りの時間を表示します。
- セット時間が終わると、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。
- タイマーセット時間は目安です。

停止する

入・切 ボタンを押す。

メモ

リモコンは送信部を受信部に向けてボタンを押す。押すたびに「ピッ」と音が出ます。

- 感度が悪くなった場合は新しいリチウム電池(CR2032)と入れ換える。

■次のところではリモコン操作ができないことがあります。

- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している部屋。
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。
- テレビの近くなど電磁波の影響を受けやすいところ。

お願い

- 指定以外の電池は入れないでください。
- 落下など強い衝撃は加えないでください。

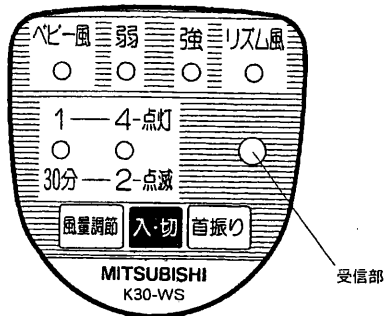
メモリー機能

一度設定した運転モードで再運転できる機能です。

- ・タイマー時間はメモリーされません。
- ・運転中に停電したり、電源プラグを抜いたときはメモリーが解除されます。

3. 本体スイッチで運転する場合

本体操作パネル部

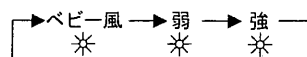


運転をする

入切 ボタンを押す。

風量を切り換える

風量調節 ボタンを押すごとに切り換わる。



※ベビー風はマイコン制御で自動的に風量の変化をつけた微弱風です。

首振りをする

首振り ボタンを押す。止めるときはもう一度押す。

停止する

入切 ボタンを押す。

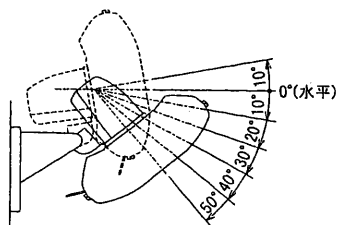
メモ

電源プラグがコンセントに差し込まれているときは、操作パネルの一部が暖かくなります。マイコンの消費電力によるもので故障ではありません。

4. 風向きを変える

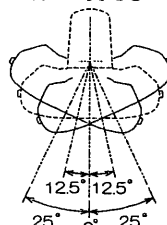
ハンドルを持って上下・左右に動かす。(カチカチと音がします)

上下に変える



7段階に変更できます。

左右に変える



首振り中心を正面と左右それぞれ2段階の5段階に変更できます。

お手入れと保管

〈お手入れ〉

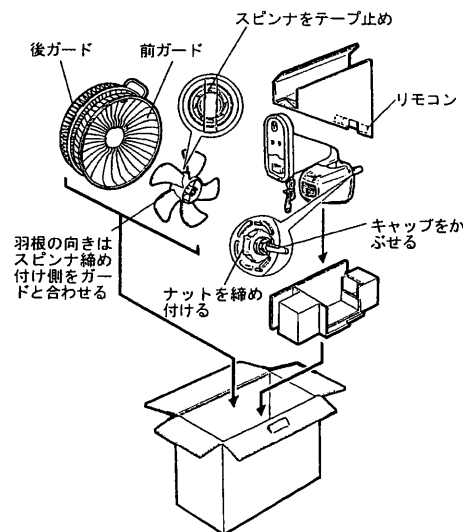
組立てと逆の順序で取りはずし、清掃する。

- 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取る。
 - モータ表面のほこりは掃除機で吸い取る。
 - 壁掛金具の木ネジおよびセットネジのゆるみがないか点検する。
- ※可動部分(モータ、首振り機構部など)への注油の必要はありません。

〈お願い〉

- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンジャー等けんま材入りの洗剤(変質・変色の原因になります)
- 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は取らないでください。
- スプレー(掃除用、殺虫用、整髪用など)をかけないでください。(破損・変質の原因となります)
- お手入れの際、羽根・ガード等に強い衝撃を与えないでください。(破損する恐れがあります)

〈保管〉



包装箱に収納する。

- モータ部が正面に向くように首振り中心および水平の位置を調節する。
※手で調節できないときは、電源を入れ首振り運転をさせ、正面に向けてください。
- 湿気の少ないところに保管する。

修理を依頼する前に

このような
症状があれば点検して
ください。

- 入・切ボタンを押しても回転しない。
(電源プラグが抜けていませんか?)
- リモコンで操作できない。
(電池が古くなっていませんか?
距離が遠すぎませんか?
＋、－が逆になっていませんか?
受信部が汚れていませんか?)
- 運転中に異常音や振動がある。
(羽根にガードが当たっていませんか?
スピナ・ナットが確実に締め付けてあり
ますか?)
- モータ部分が異常に熱い。
(ほこりがたまっていますか?)

点検・処置を
しても直らな
いときは

電源プラグを抜いて
販売店に点検・修理を
依頼してください。
費用については販売店
と相談してください。

保証とアフターサービス

三菱扇風機のアフターサービスは、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

補修用性能部品の保有期間について

- 当社はこの三菱扇風機の補修用性能部品を製造打切後8年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証(保証書)について

- この商品は、取扱説明書の裏表紙が保証書になっております。保証書は、所定の事項の記入および記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年間です。保証書の記載内容によりお買上げの販売店が修理致します。その他詳細は、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。

仕 様


(強風の場合)

形 名	電 圧 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	最大風速 (m/sec)	風 量 (m³/h)	首振角度 (度)	質 量 (kg)	コードの長さ (m)
K30-WS (W)・(H)	100	50	34	3.6	2850	0または95	3.5	2.1
		60	38	3.6	2850			

保 証 書

[持込修理]

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

品 名	三菱扇風機(壁掛扇)	形 名	K30-WS(W)・(H)
お買上げ日	年 月 日	保証期間	(お買上げ日より)1年間
お 客 さ ま		★販売店住所・店名	
お名前		<div style="text-align: center;">  または サイン </div>	
ご住所 〒			
電話 ()			
電話 ()		電話 ()	

- ★印欄に記入のない場合は、無効となりますので必ず確認ください。
お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。
- 保証期間内でも次のような場合には、有料となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷
 - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷
 - 業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用した場合の故障または損傷
 - 本書の提示がない場合
 - へ、本書にお買上げ年月日、販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き換えられた場合
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように保管してください。
 - ご購入品等で本書に記入してあるお買上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書に同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へご相談ください。
 - ご不明の場合はお買上げの販売店または、取扱説明書に同封の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」へご相談ください。

愛情点検



☆長年ご使用の扇風機の点検を!

ご使用の際
このようなことは
ありませんか。

- スイッチを入れても羽根が回転しない。
- 回転が遅いまたは不規則。
- 運転中に異常音や振動がする。
- こげ臭いにおいがする。
- モータ部分が異常に熱い。

使用
中止

故障や事故防止のため、電源
プラグを抜いて販売店にご連
絡ください。
点検、修理に要する費用は販
売店にご相談ください。

お客さま

メモ
サービスを依頼され
るとき便利です。

形 名	
お買上げ年月日	年 月 日
お買上げ店名 (住 所) (電話 番号)	()

この製品には地球環境保護の
一環として再資源化ができる
ように主なプラスチック部品
に材質名を表示しています。

材質名は主材料にISO 規定
の略号を使用

 三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号